



ワールドカップ

4 年に 1 度のサッカーワールドカップが、決勝トーナメントに入り、連日熱戦が続いています。日本は残念ながらトーナメント 1 回戦で惜敗となってしまうましたが、30 年前にはワールドカップに出場することが日本サッカーの大きな目標でした。

そこから、出場することは半ば当然となり、ベスト 8 進出が目標に掲げられ、今大会では優勝という言葉さえ聞かれるようになりました。

また、選手も初めてワールドカップに出場した時は国内のリーグに所属する選手がほとんどでした。しかし、現在は海外のトップリーグで活躍する選手が代表の中心メンバーとなっています。

この大きな変化は、日本人が海外のトップリーグで渡り合えることを示した先人たち、明確な目標の下に組織的にチームや環境を作り上げた関係者、熱心に応援し続けたサポーターなど様々な要因が絡み合って結実しているものだと思います。

そして、何よりも大きな要因は、常に現状にとどまらず、より高みを目指して精進されてきたからではないかと思います。

「停滞は後退と同じ」と言われます。そこに満足したら次のステップには進めません。小さなステップでも常に前へ、常に高みへと進んでいく気持ちが自分や自分たちを「見たことのない景色」へと導いてくれるのだと思います。